

平成28年度 東京大学入札監視委員会 議事概要

開催日時及び場所	平成29年3月17日(金)10時00分～12時00分 東京大学施設部(本部棟9階) 会議室	
委員	委員長 清水 幹裕 (弁護士) 委員 蟹澤 宏剛 (大学教授) 委員 竹内 啓博 (公認会計士・税理士)	
審議対象期間	平成28年1月1日から平成28年12月31日に契約締結した案件	
抽出案件(合計)	5 件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立ては無し。 抽出案件の個別審議に当たっては、委員長を含む全委員が全案件の審議を行った。
工 事	4 件	
一般競争入札	3 件	
随意契約	1 件	
設計・コンサルタント業務	1 件	
公募型プロポーザル方式	1 件	
委員からの意見・質問およびそれに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	なし	

質 問	回 答
<p>1. 東京大学において発注した建設工事及び設計・コンサルタント業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の落札率は昨年と同程度のようなが、25年度と比べると改善している。要因はなんと考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場の改善が進んだこと、条件を緩める等から競争性が高まったことが考えられる。
<p>2. 再苦情申し立て状況報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
<p>3. 談合情報等報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
<p>4. 審議対象工事及び設計・コンサルティング業務の抽出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
<p>5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出条件の審議について</p> <p><u>①(本郷)D, Lゾーン高木剪定作業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加要件について関東地方としているが、東京都としていないのはなぜか？ ・作業を全部元請けで行う場合と下請けで行う場合では費用は変わるか？ ・業務はすでに完了しているが、特に問題なく完了したのか？ ・参考見積はとったのか？ ・毎年剪定の予算額はどれくらいか？1年で全を行うのか？ <p><u>②(本郷)医学部2号館3階解剖実習室改修機械設備その他工事(再公告)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・再公告で、建築と設備に分けた背景はあるのか？ ・建築と設備で分けて契約した場合、監督はどうしていたのか？ ・価格交渉落札方式はどのようなときに行っているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・剪定は小さい業者が多いため、都内だけではなかなか集まるのが難しく、関東地方とすることで、広く参加者を募ろうと考えた。 ・一般的には変わるように思われる。 ・そうである。 ・参考見積は3者に依頼を行った。 ・予算額は、剪定ゾーンによって異なる。10年間ですべて行う予定である。 ・当初公告では設備に建築を包含していたが、不落となったので、分離して発注した。 ・建築と設備でそれぞれ監督職員を置いた。 ・契約に関する規程に基づいて調達方式を決定している。

質 問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・価格交渉を行うことにより、一定の効果はあるのか？ ・参加要件を東京都に本店支店営業所があることとした理由は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の効果はある。 ・工事現場に近いこと、また多くの業者は東京都内に本店支店営業所があると考えられるため。
<p>③(本郷)附属図書館(Ⅲ-1)改修工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅰ期とⅡ期で業者は異なるのか？ ・文化財に関連した実績を求めた工事はⅢ期のみか？ ・不落の場合は、再公告するものなのか？再公告せずに不落交渉するものなのか？ ・1社が辞退した理由はあるのか？ ・公告を早めることはできなかったのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・Ⅰ期とⅡ期は異なる落札業者である。 ・工事内容を考慮し、Ⅱ期工事から求めている。 ・再公告することが原則だが、不落交渉とする場合もある。ケースバイケースで考えている。 ・おそらく、技術者が別の工事を担当することになったのではと考える。先に決まった方を優先したのかもしれない。 ・設計図ができていないと難しい。早く公告できるように努めたい。
<p>④(本郷)サッカー一部室他とりこわし工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・当該業者が元々施工していたのか？ ・この後、建物を建築するのか？ ・財源が寄付の場合は契約方式は変わるのか？ ・当該業者の実績はどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・元施工は違う業者である。 ・そのとおりである。 ・原則は競争で行われる。 ・十分な実績のある業者と考える。
<p>⑤(西東京)(仮称)格納庫他実施設計業務</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・建設コンサルタント選定委員会の構成員は誰か？ ・参考見積は各社から提出してもらうのか？ ・上位の業者間での評価点数の差が大きくないがこういうケースは多いのか。 ・各委員がつけた点数をどのように評価しているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成員は、本学の選定委員の規程に基づいている。 ・参考見積は申請時の提出書類の一部としている。特定者からはあらためて見積書の提出を求めている。 ・案件による。 ・各委員の評価を根拠として点数評価している。

質 問	回 答
・点数が僅差であるなら、価格の要素も大きくなるのではないか？	・プロポーザルにおいては、僅差であったとしても最も高い点数の業者を特定者としている。